

たずねる まなぶ たのしむ

小金井史談会
SINCE 1971

令和6年 小金井史談会定期講演会

カダノ アズママロ

「赤穂浪士の討入りと 国学者荷田春満」

国学の四大人というと本居宣長や賀茂真淵、平田篤胤^{アツタネ}は知られていますが、四大人の筆頭である荷田春満（1669-1736）はあまり知られず、名前を正確に読める人も多くはいません。春満は、元禄から享保期にかけて国学の成立に尽くし、のちの国学発展を準備した人物でした。伏見稻荷の神職の家に生まれた春満は、元禄13年（1700）に出府し江戸に国学を広め、のち享保改革の文教政策にも与かりましたが、元禄15年には赤穂浪士の討入りを支援していました。春満が赤穂浪士とどのように関わったのかを、堀部弥兵衛の覚書や春満自筆の書状などから読み解いていきます。

講師 根岸茂夫先生（小金井市史編纂委員長・國學院大学名誉教授）



【プロフィール】

國學院大学名誉教授、博士（歴史学）

日本近世史（政治史・武家社会・地域社会・国学）専攻

著書『近世武家社会の形成と構造』『大名行列を解剖する—江戸の人材派遣』など

『近世の環境と開発』共編 『江戸版本くずし字大字典』監修

日時 令和6年7月1日（月）10:00～11:30（開場 9:30）

会場 小金井宮地楽器ホール 小ホール

定員 80名予定（要申込）

資料代等として 300円ご用意ください。

対象 会員 及び 小金井市近郊の在住・在勤・在学の方

申込先 会員：地区役員迄 会員でない方：嵯峨山（090-4078-5792）迄

* 小金井史談会 HP [お問合せ](#)で申込みます。

氏名、町名、電話番号をご記入下さい。

締切 令和6年6月21日（金）

後援 小金井市 及び 小金井市教育委員会

6/28～7/1宮地楽器ホール ロビーにて「歴史見学写真展」を開催



小金井史談会 HP